

公民館だより

第67号

平成29年7月

上宮津
地区公民館

里力と伝統

公民館長 智原芳明

近頃は「地域力が弱って
いる」と何かある事に決ま
り文句のように言われます。

しかし、そんな中にあつ
て、「上宮津さんは元気です
なあ。ようやつとんなりま
すわな」と言われることが
しばしばあります。

今も変わらず四季折々の
行事が上宮津は伝統的に
きています。

これまで地域で培われて
きた土壌に加え、地域の皆
様の理解と協力なくしては

成し得ない素晴らしいこと
であると思います。

運動会・駅伝等のスポー
ツ行事をはじめ、敬老会、農
業文化祭、子どもいきいき
体験活動、サロン活動など
福祉、厚生等の文化的行事
を実施する際には各団体の
主体性が尊重でき、さらに
相互機能が発揮できるよう
主催・共催・協賛事業とし
ています。

サークル活動ではコーラ
ス、陶芸教室、囲碁教室、体

操教室に加えて新しく詩吟
教室が始まりました。健康
広場では毎月第1金曜日の
夜に旧上宮津小学校で軽め
のスポーツをしています。
みなさんも自分に合ったも
のに参加して頂けたらと思
います。

現在、地域力再生の取り
組みが地域会議を中心に精
力的に取り組まれています。
避けては通れない、少子化
と高齢化は空き家と、過疎
化に拍車をかけており、当
地においても緊要の課題と
なっています。

一方で深刻なのが猪、鹿、
熊等による農作物への被害
の増大があります。

先日実施されました「辛
皮ホタルとカジカ夢よい祭
り」での出来事です。
「熊の出没で、ホタル祭り

を中止します」突然の放送
で一時騒然としましたが、
混乱はありませんでした。

夢会議や地元の皆さんで
用意したバザーで腹を満た
し、音楽の演奏を聴いた後、
周囲の山々が徐々に暗くな
り始めた矢先に流れた放送
で今まで想像もなかった
残念な結果になりました。

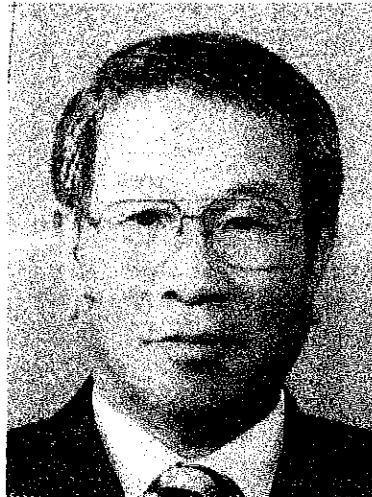
「鹿を追う者は山を見ず」
諺のとおり「虫」や「カジカ」
は里山・里川の風景には欠
かせないものとしてきまし
たが、同時に森林の生き物
である事を忘れてはならな
い側面を見た気がしました。
「ホタル狩り」

背を照らしたる竹灯籠」
暑い夏、まもなく盛林寺
では上宮津の山の歴史に感
謝する「山祭り」がやってき
ます。

自治連合会長就任にあたり

八尋慈教

ご挨拶



四月より、大役を御受けする事となりました。七区の八尋慈教でございます。

小田自治会長にとのご依頼があり、昭和六十年より七区に住まわせていただき、上宮津地区の皆様には大変お世話になり、お育て頂きました。

皆様のお役に立てること

があればとお受けした次第です。更になぜか分らぬままに自治連合会長にもご推挙いただきお受けする運びとなりました。

あまりにも前任者細見会長の功績が偉大で戸惑も感じております。

今日までの活動をしっかりと継続する事と、より住

んで楽しく住み易い上宮津となる様に各自治会長様ともども努力をしたいと考えております。

もとより浅学非才の身であり器で無い事は十分承知の上ですが、お受けした以上は出来ることから精一杯務める所存です。地域の皆様のご指導とご協力を切にお願い申し上げます。

どこの地区においても少子高齢化の問題、雇用の問題、活力の問題は討議されておりますが、なかなかこれと言う解決策には至っていません。つつい行政にこれを求めている私達だと思えます。

幸い上宮津には人、自然、歴史のお宝があります。鳥が尾入居から三十五年間の地区に住まわせていただ

き感じたのは、まず素晴らしい人材です。それぞれが立場を理解しあい得意分野の知識と技を惜しみなく発揮し地区に貢献される姿と何よりも楽しみながら活動できる人、楽しみに繋げていける人が多くおられる事だと思えます。

現在地域会議において多くの事業が始まりました。いろいろなご意見もある事とは思いますが、すべてが前向きと考え成功に向けて皆様のご協力とご理解ご参加をお願い申し上げます。

一人でも多くの人の行事、事業へのご参加が、明日の上宮津に繋がると考えます。色々なご意見苦情等なんでもお聞かせください。何卒よろしくお願い申し上げます。

皆で知恵を出し合う自治会活動に

喜多自治会長 粉川宗久

一 はじめに

日頃から皆様には大変お世話になっておりますこと、お礼を申し上げます。良い機会をいただきましたので、自治会の取組みの一つを紹介させていただきます。それは、「旧小学校跡地利用計画」の取組みです。平成二十七年三月の小学校の閉校に前後して熱心に検討が重ねられました。が、難しい大きな問題です。で時間を要しています。民間企業の活用の提案等もありましたが、現在決定には至って

いません。しかしながら、お

陰様をもちまして、今年度の総務省交付金事業に採択されて、念願の計画策定への環境が整いました。

二 利活用の方針

皆それぞれに思い出の詰まった旧小学校。その施設の利活用については、皆が切に望んでいます。あの頃の上宮津小学校の児童達のように、私たち皆が、毎日通って交流しあえたらどんなに良いでしょう。大切な施設を皆で利活用しながら、将来にわたり引き

継いで行くことが理想です。

三 利活用の進め方

ふるさとの宝である旧小学校跡地の利活用を図るため、皆で手作りの計画を作成し、

その計画に沿ってできることから実行したい。なお、計画及び事業を進める中で、民間企業等から利活用に係る協議等がある場合には、よくお話を伺った上で、私たちの計画と比較検討を行い、適否を判断して決定したい。そのほか、施設の使用料など多くの課題を宮津市と繰り返し協議する必要があります。

四 結びに

行政に百パーセント頼り切るのではなく、自分たちでできることは自らで解決する。

普段から地域のチームワーク力を培い、皆で知恵を出し合える環境を作ることが大切になります。これからの自治会活動につぎまして、皆様の一層のご支援をお願い致します。



増々楽しい松縄手自治会に

松縄手自治会会長 松岡照幸

今年度から松縄手の自治会長をさせていただいてます。今までも、体育委員・青少年体験活動推進委員・健康広場・スポーツ推進委員(旧体育指導委員)等、いろいろ活動させていただきました。上宮津全域で盛り上がった京都国体の時の「綱引」は30年にもなりませんが思い出深いものがあります。

今までの活動は、決定された場へ出向き、お手伝いのな立場で大丈夫だったのですが、自治会長は、日時を決めるところから動かなければ何事も始まらない大変さを感じています。

さて、活発で楽しい松縄手自治会であつてほしいと日頃から思っています。人と人は、顔を合わせ話をするとところから和気相あいとした雰囲気生まれてくると思います。

上宮津でも敬老会、運動会、農業文化祭等、楽しい行事が沢山準備されています。高年齢や、会場までの交通手段など、いろいろな理由で、なかなか参加者が増えません。しかし、総会や集会所の掃除などにはとても沢山の方に参加していただいています。このことを見れば、やり方を考えれば、もっと自治会員同志の交流が

図れるのではないかと思います。自治会の役員で相談し、増々楽しい松縄手になるよう頑張りたいと思います。松縄手自治会員の皆様は元より他地区の方々からも、ご指導ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

会長に就任して

天神自治会長 井本 令次

このたび、身に余る大役をお引き受けしてから、早4カ月になりました。

今までは何も気にせず会員役員として地域周辺の事に、少しではあります。が携らせていただいております。私のような未熟者が大役を引き受けて良いものか悩み、長年お世話になっていて天神自治会のために、多少なりとも貢献できればと思っております。

当自治会も、他所と変わ

色々と難題も有りますが、会員の皆様、上宮津地区の皆様、歴代の会長様をはじめ旧役員の皆様のご指導の下、今のように住みよい、楽しい天神自治会がいつまでも続けばと思っております。

（平成2年〜平成27年）の発刊に寄せて

上宮津緑の少年団記念誌編集委員会

代表 上家 透

難産からスクスクと成長。

上宮津の子どもたちは、

皆さんの愛情と縁に育まれ、心身ともにたくましく巣立っていきました。

上宮津緑の少年団は、第42回全国植樹祭・京都緑の祭典（平成3年）を期して平成2年11月に誕生しました。

上宮津は大江山山系の森林・大手川・田園など、大自然に恵まれ、子どもたちは、キャンプ・川の調査・小鳥の巣箱・花いっぱい。コメや野菜・お茶・シイタケづくりや、スギ・ヒノキ等建築用材を育てる等、体験学習をしてきました。

さらに、毎年行われる「ふるさとの

森」の植樹祭には緑を守り育てる宣誓を行い、ふるさとの大山・杉山観察会では300年を超える天然スギを訪ねたり、日本三景の天橋立と一体となる杉山の意義も学びました。

この度、有志により25年の歩みを記念誌としてとりまとめ、平成2年度から26年度までの上宮津小学校卒業生・在校生と、在職された教職員の皆さんに配布してきました。

配布は、公民館・自治会や関係の皆様

にお世話になりました。
記念誌について、お尋ねなどありましたら上宮津地区公民館へご連絡ください。



フルカラー A4判 90ページ

なつかしい写真とメッセージが満載

厚生労働大臣特別表彰を受賞して

今福 杉田 喜美代

この度の表彰にあたり、民生児童委員としての15年間地域の皆さんと共に歩んで参りました。

振り返ってみるに、あつという間の15年という思いもあり、又、長い長い歳月だったようでもあります。少子高齢化が進み始め、そして、あつという間の超高齢化社会に入り、私たちの活動も困難になってまいりました。個人情報保護条例の施行もあり、従来からの活動が制約される事もありました。

また、平成16年10月20日の23号台風に見舞われた真夜中に大雨の中を一人暮らしの方のお宅へ走り回ったものでした。

その後、台風で残された

課題や得た教訓をもとに研修を重ね、助け合いネットワークの作成では何度となく足を運んだものでした。社会が大きく変わろうとしている時でもあり、次々と出される政策や制度改正への対応等は、私たちにとつては大変深刻なものでした。

今回の受賞は地域の皆さんが寄り添い、支援、協力をして頂いたことで得た賞だと感謝しております。また自分自身も長年にわたり務め上げたことに充実感を覚え、改めて受賞の重みに喜びを感じております。

過日、私の思いを察して頂いたのか公民館長さんをはじめ職員の皆さん、民生児童委員の皆さん、サロン・ド・カミヤツの皆さん

など、大勢の方に祝福して頂きました。感謝をしながら喜びを分かちあえた事を、この上ない幸せ者であり、名誉であることをかみしめております。

私は高齢ではありませんが、地域で育てて頂いた自分を重く受け止め、これからも健康で地域のために頑張ります。

たいと思います。

最後に現在、福祉に携わっておられる皆様、民生児童委員の皆様、今後益々大変になって来ると思いますが、柔軟な対応でとどろ地域のため、自分自身のためにご活躍役ください。

—感謝のうちに—



5月2日杉田喜美代さんの受賞を祝う会

お世話になります

平成29年度、新しく公民館運営審議会委員、
公民館活動推進委員、青少年体験活動推進委員として
協力いただきます。

どうかよろしくおねがいします。

公民館運営審議会委員

八尋 慈教	上宮津自治連合会会長
	小田自治会会長
粉川 宗久	喜多自治会会長
奥野 利貞	今福自治会会長
井本 令次	天神自治会会長
吉田 康男	鳥が尾自治会会長
松岡 照幸	上宮津自治連合会副会長
	松縄手自治会会長
	宮津市スポーツ推進委員
関野 掲司	上宮津財産区管理会会長
岡 伸侍	合同会社大江山スキ一観光代表
杉田喜美代	市社協上宮津支会長
橋本 陽子	上宮津保育所所長
奥野 充暁	上宮津保育所保護者会会長
宮本 哲雄	民生児童委員常務
藤田 淳志	上宮津体育協会会長
粉川正太郎	上宮津21夢会議代表
柴谷 保生	千歳会会長
福井 愿則	今福福寿会会長
寺下 博文	喜多城倶楽部
粉川 紀子	上宮津自治連合会事務局
智原 芳明	上宮津地区公民館館長
大西真由美	上宮津地区公民館主事

公民館活動推進委員

上家 春美	小田
梅溪 康夫	小田
寺下 博文	喜多
細見 重彰	喜多
長林 三代	今福
奥野 敦	今福
岡本 剛	天神
舟橋 照美	鳥が尾
栞原 政光	松縄手

青少年体験活動推進委員

田中 了	小田
細見 秀史	喜多
井笹 立子	喜多
福井 俊明	今福
安達 光幸	天神
上野 潤一	鳥が尾
松岡 照幸	松縄手

(平成29年7月現在)

本年度の公民館事業

◆地区全体

上宮津地区駅伝 六月十一日(日)

盆踊り大会 八月十四日(月)

敬老会 九月十七日(日)

運動会 十月八日(日)

予備日(十五日)

農業文化祭

十一月十一(土)、十二日(日)

大掃除 七月三十日(日)

◆青少年体験活動

子どもいきいき体験活動

新春お楽しみ会 一月六日(土)

◆講演・講習会

健康教室

一般教養講座 七月二十一日(金)

しめ縄講習会 十二月二日(土)

囲碁大会 二月十一日(日)

男の料理教室 三月四日(日)

◆同好会・サークル活動

陶芸教室 毎月第四土曜日

囲碁教室 毎月第二土曜日

詩吟教室 毎週月曜午後

体操教室 毎月第三金曜日

バトミントン教室

毎週土曜日

月いち健康広場

第一金曜日

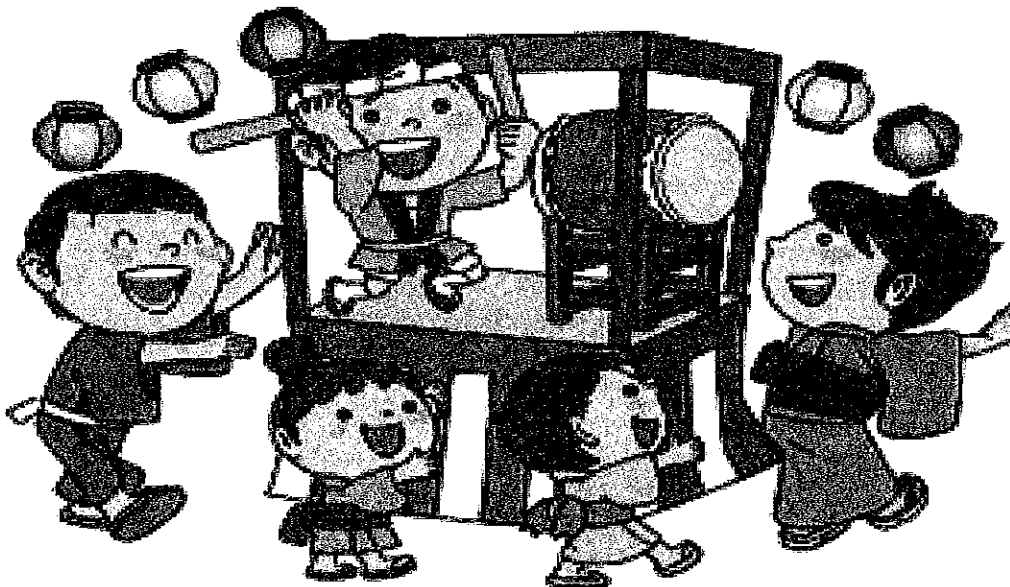
ただ今

上宮津音頭踊り保存会会員募集中

上宮津地区盆踊り大会

射的・運だめし・金魚すくい・お楽しみ抽選会・生ビール

かき氷・からあげ&ポテト・フランクフルト・焼き鳥・ジュース 等



平成29年8月14日(月)午後7時から

上宮津保育所園庭にて(雨天の場合旧上宮津小学校)